

| | |
|----|---|
| 題目 | 平成25年度第1回 教育課程編成委員会議事録 |
| 内容 | <p>1. 教育課程編成委員会</p> <p>1) 日時：平成25年11月7日（木）15時00分～16時10分</p> <p>2) 場所：日本福祉教育専門学校 高田校舎会議室</p> <p>3) 出席：委員長 山田 幸一（日本福祉教育専門学校 教務部長）</p> <p>委員 金川 宗正（社会福祉法人 フロンティア 法人本部事務局 主任）</p> <p>委員 肥後 義道（社会福祉法人 敬心福祉会 池袋敬心苑 施設長）</p> <p>委員 二渡 努（公益財団法人 社会福祉振興・試験センター 社会福祉専門員）</p> <p>委員 松山 慎司（社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会 専門員）</p> <p>委員 渡邊 大樹（社会医療法人 社団正志会 南町田病院 専門職員）</p> <p>事務局 小杉 泰輔（事務部長）</p> <p>事務局 川口 朝子（教務課）</p> <p>事務局 積田 修真（教務課）</p> <p>2. 議事</p> <p>1) 校長挨拶及び趣旨説明（久門）</p> <p>2) 委員及び事務局の紹介（小杉）</p> <p>3) 教育課程編成委員会、申請学科、事業計画の内容と今後のスケジュールの説明（小杉）</p> <p>4) 教育課程の説明</p> <p>① ソーシャル・ケア学科の説明（積田）</p> <p>専門性を重視していることはカリキュラム編成からわかるが、現場では他職種との連携、チームケアが求められている。医療的ケアの知識・技術はカリキュラムの時間数だけで足りているのか。福祉は人を相手にする仕事であり、人間性を求められている。現場では組織の一員として働くので組織論を学ぶカリキュラムは組み込まれているか。情報社会になり記録や報告書はすべてパソコンで管理している。現場では専門性の知識や技術だけではなくパソコンスキルも求められている。（肥後）</p> <p>介護福祉士の国家試験は2～3年次のコマ数を減らし、社会福祉士同様、国家試験受験の4年次に重点的にやった方がよいのでは。早期対策も必要だが学んだことを忘れる可能性がある。職員同士のコミュニケーションを円滑に行えるよう重点的に学んで欲しい。現場では介護福祉士に求められる知識や技術が高まっている。（金川）</p> <p>4年次の権利擁護と成年後見制度に重点を置いて欲しい。日本福祉教育専門学校の就職先は東京近郊が予想され、これから高齢者の一人暮らしがさらに増える。また、親族との関係性が希薄になり、判断能力低下者への対応ならびに契約関係の対等化も含め知識を向上して欲しい。（松山）</p> <p>（質疑応答）</p> <p>Q. 高齢者虐待を学ぶ講義はあるのか。（肥後）</p> <p>A. 「高齢者に対する支援と介護保険制度」「相談援助演習」で対応している。（山田）</p> <p>Q. 卒業研究とは何か。（肥後）</p> <p>A. 卒業論文である。（積田）</p> |

Q. 新規開講科目のレジデンシャル・ソーシャルワークについて、開講時期・コマ数・単位認定はどうか。(二渡)

A. 実践力を身につけてもらうため、卒業年次の4年次に開講。コマ数は15コマ半期で、卒業認定単位の対象となっている。(積田)

Q. 平成25年度入学生と平成26年度入学生の国家試験対策の時間数が1年違うだけで大幅に増加しているのはなぜか。(二渡)

A. 年々、学生の学力低下が目立ち少しでも早めに対応できるように1年間しか変わらないが対応した。(積田)

Q. 国家試験対策はどのように単位認定しているのか。(二渡)

A. 全コマを一人の先生が受け持つのではなく、専門領域の講師が少しずつ受け持っている。半期ごとに試験を実施し単位を認定している。(積田)

Q. 4年次に介護福祉士の講義が少ないのは何か意図的に配置しているのか。(二渡)

A. 介護福祉の知識・技術をベースに社会福祉の知識・技術を構築しているために、1年次から3年次までに集中的に配置している。(積田)

② 介護福祉学科の説明 (積田)

現場ではグループワークを求められる場面が多い。専門職の知識や技術だけではなく、自分の趣味を最大限に活かせる場面もあるため音楽療法を学べる機会があるのは良い。(肥後)

介護保険法に基づく施設より障害者総合支援法に基づく施設の方が安定雇用に繋がる可能性が高い。(松山)

(質疑応答)

Q. 就職後、仕事に没頭しすぎて精神的に病を患わせる可能性がある。自己コントロールできるような科目はあるか。(肥後)

A. 人間関係とコミュニケーションの一部に含まれる。(山田)

Q. 介護は高齢のイメージが強いが、障害者に対するケースも学んでいるか。(肥後)

A. 介護総合演習で様々なケースを学んでいる。(山田)

Q. ソーシャル・ケア学科に比べ国家試験対策講座のコマ数が少ないのは何か理由があるか(金川)

A. 国家試験対策講座以外の授業でミニテストを繰り返しながら、国家試験合格を目指しているためソーシャル・ケア学科に比べ少ない。(積田)

Q. 卒業後、介護福祉士としてではなくホームヘルパーとして働く学生もいる。ホームヘルパーに必要な栄養や調理、福祉工学は授業に組み込まれているか。(金川)

A. 生活支援技術に含まれている。科目単体としては開講していない。(二渡)

Q. 介護実習Ⅱの変更内容とは何か(二渡)

A. 今年度は週1回5日間を1セットとし、3セット行っている。変更後は介護実習Ⅲの長期集中実習に向け12日間の短期集中実習に変更した。(積田)

現在の単発よりも継続した実習の方がよい。(肥後)

③ 社会福祉学科の説明 (山田)

(質疑応答)

Q. 産学連携はどのように図っていくのか。(二渡)

A. ボランティア活動の強化と、地域や現場に向いて施設との連携を図る。(山田)
ボランティアの経験は現場で役立つので、ぜひ強化して欲しい。(肥後)

Q. 高校から直接入学する学生の割合はどのくらいか。(松山)

A. 3割程度。社会人の入学生も最近多くなっている。(山田)

④ 言語聴覚療法学科の説明 (川口)

(質疑応答)

Q. 学生の学力低下が目立ってきているが入学試験の成績はどうか。(肥後)

A. 入学試験の基準は設けているが、文書能力の低下が目立つ。(川口)

Q. 入学前の講習会・フォロー体制とは何か。(渡邊)

A. パソコンスキルの低下が目立つので入学試験合格者に対して Word・Excel の講義、退学率が高いので入学前から学生のモチベーションを高めるための講義を検討している。(川口)

Q. 他の学科のように現場で活躍する卒業生を招く講義はあるか。(肥後)

A. 入学予定者に対して行っているが、在校生に対する講義は行っていない。(川口)

Q. 入学条件は大学卒業以上だが、学力低下が目立つのか。(金川)

A. 大学卒業後、間を空けずに入学する学生もいれば何年も社会人経験を経て入学する学生もいるためである。(川口)

Q. 入学者に対する卒業の割合はどのくらいか。(松山)

A. 平成24年度は43名が入学し、29名が卒業した。(渡邊)

3. 次回の日程

1) 日時：平成26年2月13日(木) 15時～16時

2) 場所：日本福祉教育専門学校 高田校舎 会議室

以上